

オープン・コム

Open Com

2018 No. 39

開放型病床をもつ開かれた病院として、
地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、
心かよう安心の医療を目指します。

平成 30 年度ご挨拶	2
小野啓郎名誉院長を偲んで(オープンコム創刊号表紙)	3
当院の実力 消化器内視鏡センター編	4 ~ 5
当院の実力 産婦人科編	6 ~ 7
トピックス	8 ~ 12

地域医療連絡会が開催されました
第3回 フットケア・スキンケア検討会 開催報告
平成 29 年度 大阪病院賞の表彰
「訪問します!健康講座」が第2回 JCHO 学会において優秀賞を受賞
第7回 JCHO 大阪病院産婦人科セミナー開催報告
大阪がん・生殖医療ネットワーク設立記念講演会&交流会開催報告
10 月はピンクリボン月間キャンペーンです
クリスマスミニコンサートを開催しました

みなさまの声 Open Win/d より	13
かかりつけ医さん こんにちは	14 ~ 15
いまだ整形外科クリニック 藤井歯科医院 おおにし泌尿器科クリニック かも眼科	
院内施設のご案内	16
各種教室・公開講座・院内の公開講座	18 ~ 19

平成30年度 ご挨拶

JCHO 大阪病院 院長 山崎 芳郎

この度広報誌オープンコム2018年度第39号を刊行するに際し一言ご挨拶申し上げます。

公設公営の独立行政法人 地域医療機能推進機構（Japan Community Healthcare Organization: 略称 JCHO）大阪病院は、（旧）大阪厚生年金病院を基盤に一層公的な性格を有する病院として、平成26年4月から新たな道程を歩み始め4年が経過しました。

一方、厚労省認可から5年を経て免震構造の新病院も平成27年5月に移転開院しました。その後、旧病院解体跡地に駐車場を設営し、翌年4月に医療機関にとって数十年に一度巡ってくる最大の投資であった新病院のグランドオープンを迎えることが出来ました。

関係者各位のご理解・ご尽力の賜物であることを深謝申し上げますとともに、その後に利用された患者さん達からは、医療の質および療養環境に関して概ね良好な満足度回答が得られており、少し愁眉を開く思いを抱く今日この頃です。

逆に、「民から官」への移行に伴う就業規則や倫理規程の改定に伴う束縛感に加え、新築と医療機器購入にかかる高額な減価償却費返済で賞与減額を強いられたことで、職員の心の中に鬱積した新組織へのわだかまりは、未だ完全払拭に至っていない状況です。

しかし、新組織の理念「JCHO は地域の住民・行政・関係機関と連携して、地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献します」は、JCHO の名称とともに院内外に漸次浸透してきており、新病院開院も相まって全職員が一丸となり、従前からの急性期医療と地域連携推進を再加速させる心意気と底力を感じていますので御期待下さい。

今年の課題としては、診療報酬全体（ネット）▲1.1%、働き方改革、新専門医制度発足など難問山積が続く中、従前からの目標であった ①良質な医療と療養環境の提供 ②次世代を担う医療人材の育成 ③信頼されるチーム医療の拡充に加えて ④団塊世代が後期高齢者の仲間入りをする2025年まで10年を切った今、疾病構造の微妙な変化に順応出来るシームレスな地域連携といった役割を常に念頭に入れ、病院の更なる飛躍（戌年にちなんで、wonder → wonderful → hard-won）に結びつける所存ですので、診療機関各位には引き続きご支援・ご鞭撻のほど切にお願い申し上げます。

最後に、非常に残念なお知らせではありますが、当院の小野 啓郎名誉院長が今年1月24日に急逝されました。先生は、41歳の若さで大阪大学医学部整形外科教授に就任され、その後医学部長としても輝かしい功績を残された後、平成6年に大阪厚生年金病院院長に赴任されました。卓越した指導力に加えて持ち前の頑固さとスピーディかつ的確な洞察力から、最初に取り組みされたのが、赴任翌年の阪神淡路大震災の経験をもとに救急室とICUを整備し救急告示病院認定を受け、経営面での心配をよそに急性期病院への転換を見事に図られました。また、当初から地域医療機関および地区住民との強い連携を重んじられ、開放型病床・医薬分業・高齢者医療などにいち早く取り組みました。この広報誌「Open Com」も、昭和62年発刊の院内報「こうねんめいと」を74号で終了させ、平成12年6月には地域連携強化の一環として「年中、24時間目覚めています」と題した創刊号に生まれ変わり、今回39号に至っております。

次頁に創刊号の表紙を掲載しますので、故人の生前を偲んで頂ければ幸甚に存じます。

小野 啓郎名誉院長を偲んで

オープン・コム創刊号 表紙

縮小率80%

年中、24時間目覚めています

「毒入りカレー事件」で世間が騒いでいるさなか、澄んだ目でいち早く砒素中毒と断定し、容疑者夫婦以外にも犯人がいると指摘したのは中学3年生の少女でした（「四人はなぜ死んだのか」三好万季著、文芸春秋）。容疑者と並べて「犯人」だと断罪されたのは、中毒患者さんを受け入れた病院、医大、それに調査にあたった警察並びに保健所でした。大量の中毒者が発生しても、医大病院を含めて医療機関はなすすべもありませんでした。

主な症状をインターネット検索すれば、砒素中毒という正解も、正しい治療薬も選択されるというのに、無知で無防備でした。その結果、食中毒や青酸カリなどと言うのはずれが救命を運らせました。これが「犯人」と見なされる根拠です。

まさに正論です。しかし裏を返せば、公的病院というものが地域の人々の安全と健康に年がら年中いかに大きな責任を負っているか、ということではないでしょうか。そしてその期待に応えるためには、年中あらゆる緊急事態に備え、即応体制にあるべきことを、この少女から教えられたといつてよいでしょう。

文字どおり24時間眠ることがない——これが地域中核病院の本当の姿でしょう。ただし1病院だけでは持ちこたえられません。幸い地域の医師会員とも連携が進んでいます。厚生年金病院の病床を「かかりつけ医」の先生方にも利用していただき（開放型病院）、常日頃からこの地域の健康と福祉を推進したいと願っています。

医薬分業に向け、「かかりつけ薬局」との連携にも今秋から取り組みます。

新しい時代に、広報誌「オープンコム」が、地域の皆様のコミュニケーション広場になることを切望します。

院長
小野 啓郎

当院の実力 消化器内視鏡センター編

特 色 センター長 山本 克己

- ・様々な消化器疾患・治療に対応すべく、種々の内視鏡検査・治療を行っており、年間総件数は約1万件程度行っています。
- ・特に、上部及び下部消化管内視鏡検査・治療件数が多く、一般的なポリープの内視鏡的切除の他、高度な技術を要するとされる早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を多数例実施しており、2017年は300例を超える件数を施行し、治療件数は関西有数とされます。
- ・ESDは胃・大腸・食道・十二指腸・咽頭の表在性腫瘍を内視鏡的に切除する治療です。安全性・確実性を高めるために当院で独自に開発した技法もあり、近隣地区だけでなく、大阪府下の病院・クリニック等から困難例も含めて多くの紹介があり、治療成績は非常に良好です。
- ・早期癌の発見、治療の適応を決めるための通常スクリーニング検査、精査内視鏡に力を入れており、検査を苦痛なく楽に受けていただくため、鎮静剤の使用も多数例で行っています。
- ・胆膵疾患の診断・治療のための内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）・超音波内視鏡検査（EUS）も多数例施行しており、胆管炎や閉塞性黄疸に対する緊急内視鏡も行っています。
- ・上部・下部消化管出血に対する内視鏡的止血術、腸閉塞に対するイレウス管留置術・消化管ステント留置術、異物誤飲に対する異物除去術なども積極的に行っており、緊急処置にも対応しています。
- ・外科や耳鼻科と協力して手術室で行う、腹腔鏡内視鏡合同手術（LECS）や表在咽頭癌のESDなど最新の治療にも対応しています。

主な診療内容

(検査)	
上部消化管内視鏡検査	食道・胃・十二指腸疾患の診断
下部消化管内視鏡検査	大腸疾患の診断
拡大内視鏡検査	早期癌の診断（範囲診断、深達度診断）
超音波内視鏡検査（EUS）、EUS下穿刺吸引生検法	早期癌の深達度診断、粘膜下腫瘍・胆膵疾患の診断
内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）	胆膵内視鏡診断
ダブルバルーン小腸内視鏡	小腸疾患の診断

(治療)	
内視鏡的粘膜切除術（EMR）、ポリペクトミー	胃・大腸・十二指腸のポリープ等の内視鏡的摘除
内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	早期胃癌・早期大腸癌・表在食道癌・早期十二指腸癌・表在咽頭癌の内視鏡的摘除
上部・下部消化管止血術	上部・下部消化管出血に対する内視鏡的止血術
ERCP下ステント留置、碎石術	総胆管結石・閉塞性黄疸・胆管炎の治療
食道静脈瘤結紮術・硬化療法	食道静脈瘤
内視鏡的バルーン拡張術、消化管ステント留置術	食道狭窄、大腸狭窄、小腸狭窄
異物除去術	異物誤飲
経鼻内視鏡によるイレウス管挿入術	イレウス（腸閉塞）
胃瘻造設術	嚥下困難
腹腔鏡内視鏡合同手術（LECS）	消化管粘膜下腫瘍、消化管表在性腫瘍の切除

- ・予約制
- ・予約方法
- （患者さん）かかりつけの先生からご紹介いただくか、当院消化器内科外来受診の上、お申し込みください（患者さんからの直接申し込みはできません）。
- （かかりつけの先生方）「地域連携室」にご連絡の上ご予約ください。
- ・診療についてのお問い合わせ窓口 消化器内視鏡センター JCHO 大阪病院 06-6441-5451（代）



患者さん、一般の方へのメッセージ

- ・内視鏡検査（上部消化管内視鏡検査：胃カメラ、下部消化管内視鏡検査：大腸カメラ）は苦しい、痛いというイメージをお持ちの方がいると思いますが、当院では、希望者には鎮静剤（眠くなります）を使用しており、苦痛なく検査が受けられたとの声を沢山いただいています。
- ・大腸癌が男女とも死因の上位を占めているものの、特に女性の方は下部消化管（大腸）内視鏡検査は恥ずかしいという方もいらっしゃると思います。当院では女性医師も多く、女性医師による検査がご希望の場合、事前に申し出ていただければ、なるべく配慮いたします。
- ・鎮静剤を使用した場合、検査後、約1時間お休みいただいた後ご帰宅いただきますが、当日は危険ですので、車、バイク、自転車の運転は必ずお控えいただいております。鎮静剤をご希望の方は、公共の交通機関をご利用でご来院ください。

かかりつけ医の先生へのメッセージ

- ・各種検査、治療は地域連携室を通して、消化器内科外来にご紹介いただければ対応させていただきますが、上部消化管内視鏡検査については、かかりつけ医の先生から直接予約も可能です。かかりつけ医の先生紹介専用の検査枠も用意していますので、地域連携室までご連絡ください。
- ・早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）は多数例施行しており、他院で内視鏡では治療できないと言われた症例についても、当院で適応があると判断すれば実施し治癒切除が得られることもございます。
- ・消化管出血に対する止血術や、胆膵疾患・治療も積極的に行っており、各種緊急処置にも対応しております。症例がございましたら、診断・治療を含め、お気軽にご紹介いただけましたら幸いです。

消化器内視鏡専門医を目指す臨床研修医の皆さんへ

当院では、あらゆる消化器疾患に対応するため、種々の内視鏡検査・治療を行っており、専門のスタッフが臨床研修医の指導を行います。特に内視鏡は基本操作が非常に重要で、早い段階で学ばないと後から習得するのは困難です。当院のスタッフは、日本国内や海外のハンズオンセミナーで多数の指導歴のある医師もおり、より高いレベルを目指す方にも最適です。学会発表や論文作成などの指導にも力を入れており、臨床研修医も努力次第で、海外学会での発表が経験できます。症例が多数あり、診療が遅くなることもありますが、当院は大阪の中心地に近く、充実した研修生活が送れるよう指導しますので、興味のある方は是非一度見学にいらしてください。

看護スタッフの紹介

内視鏡センターの看護スタッフは、看護師11名と看護助手、クラーク、内視鏡洗浄員がおります。全員が一丸となって、消化器内科医師と協力し、患者さんに内視鏡検査・手術を安心して受けていただけるよう努めています。また、内視鏡技術や医療機器の進歩に伴う専門的な知識と技術の習得に向け、消化器内視鏡技師（日本消化器内視鏡学会認定）の資格を持つ看護師を中心に、勉強会を行っています。内視鏡洗浄・消毒についても、日本内視鏡技師学会ガイドラインに沿った洗浄・消毒を行い、安全かつ質の高いケアを提供できるよう頑張っています。

●産科：「母子にとって安全な分娩」を最大の目標にしています

当院は、「母子にとって安全な分娩」を最大の目標にしています。
2017年は638件の分娩を取り扱いました。そのうち帝王切開術は予定手術・緊急手術を含めて108件でした。
現在、妊娠35週以降の分娩を取り扱っており、双胎妊娠（2絨毛膜2羊膜双胎に限ります）にも対応しています。
産科オープンシステム・セミオープンシステムを導入しており、ご希望のある妊婦さんは、近所のかかりつけの産婦人科クリニックで妊婦健診を行い、当院で分娩管理を行うことが可能です。
妊婦健診時には数回の超音波検査を行います。胎児疾患が疑われる場合はさらに詳細な胎児超音波検査による精査を行います。これによりこれまでも多くの胎児疾患を確認し、分娩後の方針を決定しています。またご希望のある妊婦さんに対しては4Dエコーを実施しています。
高年出産や産科既往歴によっては、母体血清マーカー検査（クアトロテスト）や羊水検査を実施しています。また骨盤位妊娠に対しては予定帝王切開術を行います。ご希望があれば外回転術を実施し、帝王切開分娩の回避を図っています。
分娩はできるだけ医療介入の少ない自然分娩を目指していますが、医学的に適応のある妊婦さんに対しては無痛・和痛分娩を実施しています。必要に応じて吸引分娩・鉗子分娩を行うことがあり、分娩時の状況によっては、新生児の診察のため小児科医師が分娩に立ち会います。

●婦人科

診療内容（診療対象疾患）

良性疾病	子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症、卵巣腫瘍、骨盤性器脱、異所性妊娠、不妊症（多嚢胞性卵巣症候群、卵巣過剰刺激症候群）不育症、子宮形態異常（中隔子宮、副角子宮、腔欠損症）
悪性疾病	子宮頸がん、子宮体がん、卵巣癌、卵管がん、腹膜がん、外陰がん

特 色

- ・患者さんの病態を考慮し、エビデンスに基づいて適切な治療法の選択を提案します。
- ・手術が必要な患者さんには疾患に応じて、開腹手術、小切開開腹手術、腹腔鏡下手術（多孔式・単孔式）、子宮鏡下手術、腔式手術などを提案します。
- ・良性腫瘍に対しては、できるだけ負担の少ない手術を心がけており、例えば、子宮筋腫に対する手術療法の前にホルモン療法を導入し、腫瘍を縮小させてから低侵襲手術を行うようにしています。
- ・異所性妊娠、卵巣腫瘍茎捻転、卵巣出血など緊急手術を要する場合は、麻酔科・手術部と連携してできる限り速やかに対応させていただきます。
- ・悪性腫瘍に対しては、手術療法だけでは不十分な場合があります。子宮がんに対する放射線（化学）療法、子宮がん、卵巣がん、卵管がんに対する化学療法などを行い、悪性腫瘍の根治を目指します。悪性腫瘍手術の際は、必要に応じて当院外科・泌尿器科と連携をとり、多診療科合同で手術を実施することもよくあります。
- ・当院では早期子宮体がんに対する腹腔鏡下子宮体がん根治手術の実施認定を取得、実施しています。
- ・お子様を希望される方で、不妊症の検査（ホルモン検査、子宮卵管造影検査、子宮鏡検査、卵管鏡検査）などをご希望の方には検査を実施するとともに、妊娠に至るまで適切なアドバイスを行います。
- ・流産を繰り返す方には、不育症の検査（ホルモン検査、血液凝固系検査、子宮卵管造影検査、子宮鏡検査）などを実施し、治療を行います。
- ・多嚢胞性卵巣症候群（PCOS）に対する腹腔鏡下卵巣多孔術、子宮形態異常に対する手術（中隔子宮に対する子宮鏡下中隔切除術、副角子宮に対する腹腔鏡下副角摘出術、腔欠損症に対する腹腔鏡補助下造腔術など）にも対応しています。
- ・婦人科に限らず全ての診療科の若い悪性腫瘍患者さんに対して、将来妊娠の可能性についてカウンセリングを行い、必要に応じて検査を行い、その結果に基づいてアドバイスをしています。必要があれば、将来の妊娠の可能性を残す（妊孕性温存）ために、卵子・受精卵・卵巣組織の凍結保存などの情報提供や実施できる施設への紹介などを行っています。
- ・当施設では若年がん患者さんの妊孕性温存のため他施設との連携のもと、卵巣に影響のある抗がん剤実施前の腹腔鏡下卵巣摘出術（自費診療）の実施認定を受けています。



患者さん、一般の方へのメッセージ

同じ病気でも患者さんによって治療法が異なることはよくあります。私たちは、必要な検査を行い、可能な限り正確に診断した上で、患者さん自身やご家族とよく相談し、患者さん自身の同意の下に、最適な治療法を提案できるように、常に最新知識をアップデートしながら診療を進めています。

かかりつけ医の先生へのメッセージ

2018年4月より産婦人科医師は10名になり、さらに多くの分娩や手術を取り扱うことが可能になりました。産科症例、婦人科症例に関わらず、当院での診療・手術が必要な症例がございましたら、ぜひ、平日の初診外来にご紹介ください。また、それ以外の時間帯や緊急入院、緊急手術のご依頼があれば、当院の産婦人科にご連絡をいただきましたら、可能な限りの対応をさせていただきます。
大阪市北西部地区の全ての女性の健康管理のため、かかりつけ医の先生と病診連携をより一層進めていきたいと考えております。

産婦人科専門医を目指す臨床研修医の皆さんへ

新専門医制度において、当科は大阪大学産婦人科研修プログラム、川崎医科大学産婦人科研修プログラムの連携病院に指定されています。当院での産婦人科後期研修医を希望される方は、どちらかのプログラムに属した上で、最長2年間、当院での後期研修が可能です。その後の1年間は大学病院などで研修を行うことになります。当科は、産婦人科専門医に必要な幅広い経験と奥深い知識を得るために必要な研修ができます。
指導医は指導経験も豊富ですので、産婦人科に興味がある専攻医の先生は、ぜひ見学にお越しください。

筒井 建紀 産婦人科主任部長

専門 婦人科腫瘍学・生殖内分泌学・婦人科内視鏡手術
出身大学 大阪大学
資格等 医学博士
日本産科婦人科学会産婦人科専門医、指導医
日本生殖医学会生殖医療専門医、代議員
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医、指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本生殖免疫学会評議員
日本がん・生殖医療学会理事
母体保護法指定医

大八木 知史 医長

出身大学 福島県立医科大学、京都薬科大学
資格等 医学博士
日本産科婦人科学会専門医、指導医
母体保護法指定医
薬剤師

清原 裕美子 医長

出身大学 奈良県立医科大学
資格等 医学博士
日本産科婦人科学会専門医

梶本 恵津子 医長

出身大学 山口大学
資格等 日本産科婦人科学会専門医
母体保護法指定医

尹 純奈 医師

出身大学 大阪医科大学

梅澤 奈穂 医師

出身大学 兵庫医科大学

永井 麻衣 医師

出身大学 近畿大学

常弘 あずさ 医師

出身大学 広島大学

田伏 真理 医師

出身大学 大阪市立大学

那須 瑞貴 医師

出身大学 関西医科大学

地域医療連絡会が開催されました

2018年1月27日(土)、リーガロイヤルホテル(山楽の間)において、平成29年度の地域医療連絡会が開催されました。

連絡会は、山崎芳郎病院長挨拶の後、学術講演会として山際啓典脳血管手術担当部長より『頭頸部領域における血管内治療について』、佐々木義明内科診療部長より『呼吸器疾患領域の最近の話題 肺癌における免疫チェックポイント阻害薬、誤嚥性肺炎』の講演が行われ、講演後の質疑応答では会場の先生より質問があり、講演に対する関心の深さが感じられました。その後、田中小百合看護部長から認定看護師の紹介とともに「訪問します!! 健康講座」の活動報告が行われました。次に新任部長の紹介があり、懇親会へと進みました。懇親会にも、日頃、お世話になっております地域の先生方に多数参加

していただき盛況のうちに終えることができました。

ご参加いただきました地域の先生方におかれましては、ご多忙の中、地域医療連絡会に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。医療機関の先生方と講演会・懇親会を通じて、交流を深めることができ、地域連携室一同大変嬉しく思っております。

また、今回は看護師、地域連携室の担当者、相談員の方々にも多数出席していただいたことで、より一層の連携を深めることができたように思われます。

これからも地域の医療機関と連携し、よりよい医療を提供できるように努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(地域連携室 小孫 健)



第3回 フットケア・スキンケア検討会 開催報告

「診療科・職種を越えて語ろう」をテーマに2017年11月18日(土)フットケア・スキンケア検討会が開催されました。第1部は当院で経験した症例を紹介し、参加者と活発な意見交換が行われました。第2部では1) 閉塞性動脈硬化症と重症下肢虚血の治療、2) 慢性創傷の診かた、3) スキンケアの予防についての講演が行われました。その後、フットケア実践コーナーとしてベッドサイドでできる血流障害や神経障害の診断実習、フットケアモデルを用いた爪切りや胼胝処置、靴やインソールについて

の講習が行われました。

医師、看護師、ケアマネージャー、理学療法士、介護福祉士、社会福祉士、臨床工学技士など66名の方々にご参加いただき、まさに職種を越えて語れた有意義な検討会となりました。今後も地域連携をより一層深めていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(前皮膚科診療部長 池上 隆太)



平成29年度 大阪病院賞の表彰

この表彰制度は、チーム医療や職場内の課題に対し、職員が主体的に創意工夫した取り組みについて「大阪病院賞」として表彰するものです。

「大阪病院賞」は、職員のモチベーションの向上をもたらし、結果として患者さんの満足にもつながる取り組みと考えています。

当院では、こうした取り組みを通して、今後も魅力ある職場づくりを目指していきます。

平成29年度の受賞チームをご紹介します。

大阪病院表彰

最優秀賞

タイトル：親と子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた!」による子育て支援

チーム名：子育て支援チーム

代表：小児科医長 原田 大輔

受賞の講評

「赤ちゃんがきた!」は、当院で出産した赤ちゃん(第1子)とそのお母さんを支援する参加型子育て支援プログラムです。子育ての「仲間づくり」と「知識学習」を通じて、参加前より親子の絆がより強まり子どもの心に「心の安定根」(愛着)がはぐくまれたといった声も聞かれ、多種職のチームで行っている育児支援が、お母さんたちの育児不安の軽減につながっていることを大きく評価しました。

優秀賞

タイトル：RCA 分析

チーム名：看護部 安全管理委員会

代表：統括 RM・看護師長 堀 美和子

受賞の講評

発生したインシデント等の事象より、問題点や事故の原因を追究して、再発を防止することを目的(改善活動)とした分析ツール『RCA 分析』を導入している。手順の問題点の発見や当事者の心の負担軽減に繋がったり、職員の看護観が見え良い刺激になるなど様々な面で相乗効果に繋がっていることを評価しました。

奨励賞

タイトル：研修医を対象としたグラム染色鏡検の研修

チーム名：ICT(Infection Control Team)

代表：内科部長 中村 匡宏

受賞の講評

臨床研修医のグラム染色の習得のために、年間を通じて実習を行っている。検査技師が症例の選択と準備をし、ICD(Infection Control Doctor)が、染色手技、菌を推定、抗菌薬の選定などを指導している。

臨床研修医が、自ら感染源、原因菌の推定、抗菌薬の選択、効果判定を行うことができるようになることは、当院の臨床研修の充実に寄与していることを評価しました。



「訪問します！健康講座」が第2回 JCHO 学会において優秀賞を受賞

大阪病院の看護部では、2013年から地域と顔の見える関係性を築くために近隣の訪問看護ステーションと事例検討を行うなどケア連携の会を行ってきました。そして、2015年度から認定看護師・専門看護師（以下、CN/CNS）が地域貢献と当院の医療・看護のアピールを目的として、地域住民や医療機関を対象に無料の健康講座、「訪問します！健康講座」を開始しました。今回「訪問します！健康講座」が、第2回JCHO 学会において優秀賞を受賞することができました。

「訪問します！健康講座」は、総務企画課、建設担当調査役が、新病院建て替えの説明に保育所・小学校や区役所など訪問した際に、講座を広報して下さったことから依頼が始まりました。2015年度は4講座で参加者述べ150人、2016年度は10講座、参加者述べ427名、2017年度は1月現在、11件の講座を開催し、424名の

方に参加頂きました。

今後私たちは、健康講座を拡大できるように以下の3つの取り組みを行ないます。まず、地域住民が気軽に相談でき、看護の悩みを解決できる関係性を更に拡大します。次に、地域の医療機関にも講座の対象を拡げ、地域全体の看護ケアの向上を目指します。最後に、今後も事務担当者の協力を得ながら、CN/CNS自ら地域に出向き、積極的に広報を続けていきます。

講座の内容は本当に知りたい内容、自宅で行なえる内容、医療機関で行なえる内容を CN/CNS と共に一緒に検討できます。まずは電話で相談していただくと幸いです。

(NICU 副看護師長 澤井 真理)

JCHO 大阪病院総務企画課 「訪問します！健康講座」係
TEL06-6441-5451(代)

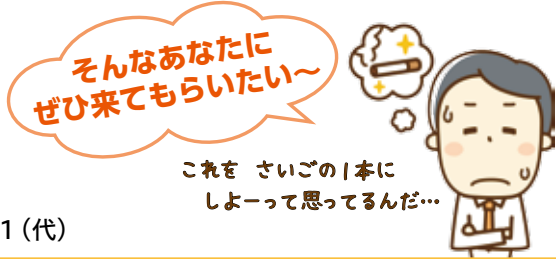


2017年度「訪問します！健康講座」の開催講座の一部

依頼元	テーマ	件数
福島区役所保健福祉課保健活動 区民向けの講座	高齢者に必要なフットケアについて 「ハッピーあし活セミナー」	1件
福島区 吉野女性学習会	感染予防について	1件
此花区 此花診療所	皮膚・排泄ケアについて	1件
福島区 グッドライフケア大阪 福島支店・北支店	認知症と家族の心理と援助について	1件
福島区 地域包括支援センター あいあい	・血液透析患者、膜透析患者の支援 ・脳卒中と誤嚥について など	4件
下福島中学校 1年生・3年生	・生命について ・男女交際について	2件

◆禁煙外来のご案内（予約制）

場 所 内科外来
日 時 毎週月曜日 14時～17時
内 容 禁煙補助薬処方、呼気一酸化炭素濃度測定など個別指導で、完全禁煙を目指します！
事前予約の上お越しください。
＊保険適応は一定の条件を満たされる方
↓
保険改定により35歳未満の方でも受けやすくなりました。
問合せ JCHO（ジェイコー）大阪病院
内科外来 TEL：06-6441-5451(代)



第7回 JCHO 大阪病院産婦人科セミナー開催報告

2017年10月24日、JCHO 大阪病院産婦人科セミナーも第7回を迎えました。毎回、その分野に精通された先生をお招きし、ご好評をいただいています。今回は、「産科救急」をテーマに、りんくう総合医療センター産婦人科部長 荻田和秀先生をお迎えして、母体救命についてお話をいただきました。荻田先生は、週刊モーニングで連載されている漫画「コウノドリ」の主人公・鴻鳥サクラ先生のモデルになられた産科医です。大阪府下における産科救急の現状、実際に遭遇した産科救急症例や、蘇生技術のノウハウといったテーマに関して、たくさんの資料やTVドラマ「コウノドリ」の映像を交えながら、詳しく教えていただきました。また講演の内容には、未受診妊婦、貧困、暴力、虐待、望まない妊娠、外国人患者といった

多様な社会問題も含まれており、我々の携わる周産期医療は「社会を映す鏡」であると感じると同時に、わが国にも様々な問題が身近にあることを再認識させられました。今回は、当院のスタッフだけでなく近隣の医療施設からの医師、助産師、看護師、看護学生、総勢113名が参加して下さい、大盛況のうちに幕を閉じました。

セミナーの主な目的は医療スタッフのスキルアップですが、セミナーをきっかけに産科医や、助産師が新たに誕生すればと密かに期待しています。今後もセミナーを通じて、医師、助産師、看護師、コメディカルが円滑に連携できる病院作りを目指していきたいと思っています。」

(前産科担当部長 福田 綾)



大阪がん・生殖医療ネットワーク設立記念講演会＆交流会開催報告

2017年12月3日、JCHO 大阪病院講堂にて「大阪がん・生殖医療ネットワーク設立記念講演会＆交流会」を開催しました。

近年のがん治療の進歩により、多くの患者さんはがんを克服できるようになりましたが、若年患者さんの場合、治療内容により卵巣・精巣など将来妊娠に関わる臓器の機能が低下し、子どもを持つことが困難になることがあります。このような病態とその対策について、医療者側も患者側も理解を深める必要があると考え、私たちは診療科横断的なネットワーク構築の準備を進めて参りました。

今回の講演会、交流会には、がんや生殖医療に携わる医師・看護師、大阪府健康医療部の職員、大阪府会議員など、77名の参加者がありました。

まず、日本がん・生殖医療学会理事長で聖マリアンナ医科大学産婦人科教授の鈴木直先生より「本邦におけるがん・生殖医療の現状と問題点—医療連携ネットワークを志向して」という演題にて、次いで国立病院機構大阪医療センター乳腺科科長の増田慎三先生より「乳がん

診療の現状と今後の展望」について講演して頂きました。休憩をはさみ、本ネットワークのこれまでの活動についてHORAC グランフロント大阪クリニック 副院長井上朋子先生と当院産婦人科医長大八木知史先生の講演がありました。

講演会終了後は、参加者が互いの日常診療での疑問点などを相談する和やかな親睦会があり、散会となりました。

(産婦人科診療部長 筒井 建紀)



10月はピンクリボン月間キャンペーンです

ピンクリボンは乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診の大切さなどを伝える乳がん啓発活動を表す世界共通のシンボルマークです。

現在、日本でも乳がん検診の早期受診を呼びかけるために、行政、市民団体、企業などが様々な活動を行っています。

毎年10月はピンクリボン月間としてピンクリボン運動の認知度向上を目的に、様々なキャンペーンが行われます。当院でも2017年10月に以下のような活動を行いました。

- ・ポスター掲示やリーフレット、自己検診啓発ティッシュの配布。
- ・ホスピタルプラザに「ピンクリボンコーナー」を設け、各種資料を設置。
- ・病院前の樹木のライトアップ。
- ・J.M.S(ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)「10月第3日曜日に全国どこでもマンモグラフィー検査が受診できる環境作り」に賛同し、2017年10月15日に乳がん検診を実施。

今後、より多くの方が、乳がん検診を受診されることを切に願っております。



(乳腺・内分泌外科診療部長 塚本 文音)

クリスマスミニコンサートを開催しました

2017年12月22日に8階西病棟と8階南病棟でクリスマスミニコンサートを開催しました。メンバーは、ピアノ：消化器内科の谷口先生(3歳から習いはじめました)、アルトサクソフォン：産婦人科の筒井先生(なんと5年ぶりの演奏でした)とバイオリン：小児科の難波(8歳から習いはじめました)の3名です。ご入院の患者さんとご家族、スタッフの皆様に温かい気持ちになっていただければと心をこめて、もろびとこぞりて、もみの木、きよしこの夜、オーバー・ザ・レインボウ(虹の彼方に)、アヴェ・マリアなどの曲を演奏しました。子供たちの手拍子や、小さな歌声も聞こえ、楽しいひと時となりました。今回はささやかに開催しましたが、次回はより多くの人に楽しんでいただけるよう、共演者大募集中です！

(小児科診療部長 難波 範行)



みなさまの声

オープン・ウィンド

Open Win/dより

平成29年6月から11月までの投書箱「みなさまの声」に寄せられたご意見は78件、患者相談窓口で直接対応したご意見等は90件、合計168件でした。その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q バス時刻表をもう少し大きな用紙(A3)にして欲しい(高齢者にとって見にくいので)。

A ご意見ありがとうございます。ご指摘いただき、すぐさまA4サイズからA3サイズに拡大した時刻表を作成し、1階総合受付前の掲示板に貼付し対応させていただきました。ありがとうございました。

Q 入院患者ですが、空調の温度設定が高すぎると思います。同室の方も背中に汗が流れるとの事。布団も分厚くてかぶって寝られません。タオルケットの用意が不十分です。

A 患者様が快適な入院生活を送れるよう環境を整えることは看護師の役割です。そこに配慮できず不快な思いをおかけして申し訳ありませんでした。冷暖房に関しては病室ごとに温度調整ができますのでその都度お申し出下さい。ただし、複数の患者様でご使用しているお部屋のため、標準的な温度に設定させていただいていることをご了承願います。寝具に関しては夏・冬用の2種類をご用意しております。申し訳ありませんが、タオルケットの貸し出しは行っておりませんので必要時はお自宅からご準備ください。これまで以上に快適に入院生活が送れますよう努めてまいります。

Q 採血室で足からの採血が出来ないのはおかしいと思います。今回は先生方の努力により、ポート採血となりましたが、今後、私以外足からの採血がスムーズに行われますよう考えていただきたいと思います。

A 採血室における採血業務においては、これまで足からの採血は皆無で経験がないこと、安静採血や乳幼児採血などでベッドがふさがることが多いこと、および止血が困難な場合など合併症を伴うリスクが高いことから、6ヶ月未満のお子様と同様、安全面やベッド採血待ち時間を考慮して、現時点では足からの採血を行えていない状況です。今後足からの採血について検討を開始いたしますが、技術面と安全面向上のために指導を受けつつトレーニングする期間を設けたく、しばらくお時間をいただければと思っておりますので、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

当院が下記メディアに掲載されました

新聞記事

新聞名	掲載年月日	掲載タイトル	内 容
日本経済新聞	2017.11.27(月)	腰部脊柱管狭窄症治療の実力病院(2015年度治療実績)	診療実績(手術あり270例、手術なし35例)、運営体制(医療機能評価機構73点)施設体制(CT撮影およびMRI撮影〇、画像診断管理加算2*)
読売新聞	2017.12.3(日)	病院の実力「糖尿病」(2016年治療実績)	療養指導士(11人)、合併症管理料の算定(609件)、教育入院(252件)

*画像診断管理加算2の施設基準(厚労省が定めた診療報酬施設基準)

イ 放射線科を標榜している病院であること。 ロ 当該保険医療機関内に画像診断を専ら担当する常勤の医師が配置されていること。

ハ 当該保険医療機関において実施される全ての核医学診断及びコンピューター断層撮影診断について、ロに規定する医師の指示の下に画像情報等の管理を行っていること。 ニ 当該保険医療機関における核医学診断及びコンピューター断層撮影診断のうち、少なくとも八割以上のものの読影結果が、ロに規定する医師により遅くとも撮影日の翌診療日までに主治医に報告されていること。

書籍記事

書名	発行日	掲載P	タイトル・内容
「腰痛 肩こり ひざ痛のいい病院」(週刊朝日MOOK 191号)	2017.10.20	P.41 ~ 45,49	【筋肉と関節のギモンQ&A】に富士 武史副院長が回答その他、いい病院リストに当院が掲載される(P.110 首・腰の手術、P.127 股関節(人工関節)の手術、P.146 ひざ(人工関節)の手術)

ラジオ出演

ラジオ局・番組名	放送日	内容
ラジオ大阪 「高岡美樹のべっぴんラジオ」	2017.11.14(火) 16:45 ~ 16:50	C型肝炎について 病気や新しい治療法 副院長 消化器内科診療部長 伊藤 敏文

かかりつけ医さん
こんにちは

福島区

いまだ整形外科クリニック

院長 今田 直紀

〒553-0001 大阪市福島区海老江1-2-17
野田阪神駅前ノースサイドビル2階

TEL 06-6131-6658

FAX 06-6131-6659

ホームページ <http://www.imada-oc.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	—
16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—



診療科目

整形外科 / リハビリテーション科 / リウマチ科

往診

無

休診日

木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

駐車場

無

アクセス

■ 阪神本線「野田」駅下車、徒歩3分

■ 大阪市営地下鉄千日前線「野田阪神」駅4号出口より徒歩約3分

■ JR東西線「海老江」駅下車、徒歩約4分



今田先生(前列中央)とスタッフの皆さん



2015年3月に野田阪神駅前に開院し、今年で3年を迎えます。当院は、理学療法士、作業療法士、柔整師が在籍し、肩こり、腰痛のマッサージからスポーツ障害、手指の障害、術後の患者さんの運動器リハビリまで幅広く対応しています。また、全身型骨密度測定器(DXA)も導入し、骨粗鬆症の診断にも力を入れています。

大阪病院では、厚生年金病院時代に肩関節疾患を中心に臨床研修をさせていただきました。患者さんからの信頼が厚く、当院でも手術は大阪病院でと希望される方が多いです。この橋渡しを上手くできるように努めて参りたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

此花区

おおにし泌尿器科クリニック

院長 大西 規夫

〒554-0014 大阪市此花区四貫島1-5-11 セントビル2階

TEL 06-6460-2005

FAX 06-6460-2015

ホームページ <http://www.ohnishi-clinic.com>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	—	○	○	○	—
16:30~18:00	○	○	—	○	○	—	—



診療科目

泌尿器科全般

往診

有

休診日

水曜・土曜午後・日曜・祝日

駐車場

無(近隣にコインパーキング「千鳥橋パーキング」または「千鳥橋第2パーキング」があります。)

アクセス

■ 阪神なんば線「千鳥橋」駅下車、徒歩1分、四貫島商店街入ってすぐ



大西先生(前列中央)とスタッフの皆さん



泌尿器科専門医としての経験を生かして2006年から此花区で血尿や頻尿、尿失禁、前立腺疾患などの診療を行っております。

現JCHO大阪病院には開院以来、検査や手術等をお願いしておりますが、いつも迅速に対応して頂き、詳細な診療情報を供され、頼りにしております。

今後さらに泌尿器科専門医として研鑽を積み、「十分な説明と同意」を旨として地域に根ざし、信頼される医院を目指して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

福島区

藤井歯科医院

院長 藤井 章司

〒553-0005 大阪市福島区野田2-22-24

TEL 06-6466-4182

FAX 06-6462-5056

ホームページ <http://www.fujii-dental.net/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
14:30~19:00	○	○	—	○	○	—	—



診療科目

歯科

往診

有

休診日

水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

駐車場

有

アクセス

■ 阪神本線「野田」駅下車、徒歩3分

■ 大阪市営地下鉄千日前線「玉川」駅下車、徒歩3分



藤井先生



1989年の開業以来、地域の口腔健康と医療を中心に診療しております。口は健康の入り口。おいしく食事できて、笑顔で日々を迎えることは人間として重要です。そんな食べられるということに重点を置き、患者様と向きあっています。

JCHO大阪病院は、開業医ではとても解決できない症例など、レベルの高い治療が大いに期待でき、我々も安心して日常を過ごせます。今後ともよろしくお願いいたします。

此花区

かも眼科

院長 加茂 雅朗

〒554-0012 大阪市此花区西九条1-32-17 阪神なんば線西九条駅2階

TEL 06-6225-8268

FAX 06-6225-8638

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	—	○	○	—
16:30~18:30	○	○	○	★	○	—	—



診療科目

眼科

往診

無

休診日

木曜午前・土曜午後・日曜・祝日 木曜午後は日帰り手術のみ

駐車場

無

アクセス

■ 阪神なんば線「西九条」駅内、2階



加茂先生(右)とスタッフの皆さん



以前此花区の市民病院に勤務していたこともあり、此花区西九条の地に縁あって2011年9月に開業いたしました。病診連携がますます重要な昨今におきましてはJCHO大阪病院は我々診療所の強い味方かと思っております。当クリニックの患者様もいろいろとお世話になっております。病診連携を軸に地域の皆様の医療に尽くして参りたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

14

オープン・コム No.39(2018) — JCHO大阪病院 —

オープン・コム No.39(2018) — JCHO大阪病院 —

15

院内施設のご案内

駐車場



- ▶ 事前精算機は西側出入口(守衛室前)にあります。
- ▶ ご入場は、あみだ池筋よりお願いいたします。

【駐車場問合せ先】

タイムズコンタクトセンター TEL：0120-72-8924

(利用料金)

■一般料金 60分 600円

■外来受診の方 60分 200円

・最大料金 平日 1,800円 土日祝 800円

・割引対象の方で、身体障害者手帳をお持ちの方
(無料)

・入院・退院当日、日帰り手術、人間ドック受診の方(無料)

患者さん用コインロッカー

■設置場所 1F タリーズコーヒー入口横

■使用料金 1日1回 小型100円 中型200円

■係員対応時間 平日 9:00 ~ 17:00
土日祝祭日 翌通常診察日
(時間外の対応はできませんのでご注意ください)

■追加料金 午前0時をもって日数の切換えとなり、引き続きご使用の場合は、上記料金の追加となります。

■使用期間 4日(連続)以上の使用はできません。
3日以内にお引取りください。(ご使用当日も含みます)

■使用期間の経過 4日以上経過した収容品は、規定により当方
所定の場所に保管します。

■保管荷物 前項により別途保管中の収容品保管期間は30日以内で、
保管料金は、ロッカー使用料と同じです。
(30日を過ぎた物品は処分いたします)

■鍵の紛失 直ちに下記連絡先にお申し出ください。
なお、鍵交換費用として2000円いただきます。

■その他 コインロッカーの使用約款はロッカー扉裏にありますので
ご覧ください。

■連絡先 ロッカーについてのご用の方は守衛室までお願いします。

施設名



自然派レストランのだぶじ

場 所 4階(南)

営業時間 ※定休日：日・祝・年末年始

月～金 8:30～17:00
【モーニングタイム】8:30～10:00
【ランチタイム】10:00～17:00
オーダーストップ▶▶16:30

土 10:30～17:00
オーダーストップ▶▶16:30

施設名



タリーズコーヒー TULLY'S COFFEE

場 所 1階(東)

営業時間

平日：7:30～19:00
土・日・祝：8:00～18:00
年中無休

施設名



ファミリーマート

場 所 1階(東)

営業時間

24時間営業・年中無休

ラウンジ・医療情報コーナー

当院を利用される患者さんのためのオープンスペースです。お気軽にご利用ください。

施設名



ラウンジ(外来)

場 所

2階
(南)

開放時間

平日：8:30～18:00
閉鎖：土・日・祝日・年末年始



医療情報コーナー

3階
(南)

一般娯楽本、雑誌、闘病記、医療パンフレット、
医療書があります。
(利用ルール等詳細は、コーナー内の案内をご覧ください)



患者さんへのお願い

受診時のお願い

- 診療科によって予約の患者さん限定の曜日があります(神経精神科、形成外科、泌尿器科、心臓血管外科)。ご受診の際は一度お問い合わせください。
- 保険証をお持ちいただかなかった場合は、自費診療になります。後日(なるべく受診された月内に)、保険証と自費診療で支払った領収書をお持ちになって、保険確認窓口へお渡しください。保険診療で計算しなおします。
- 当院では、紹介状をお持ちの患者さんの診察待ち時間をできるだけ少なくし、スムーズに受診していただくため、初診患者さんの診察予約を行っております。**予約の際にはかかりつけ医からの紹介状が必要です。**診察担当医の出張による休診日もありますので、できるだけ予約をしてご来院いただきますようお願いいたします。
- 予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいますようお願いいたします。
- 当院での整形外科初診・再診の取り扱いについて

整形外科(リウマチ科・脊椎外科・スポーツ医学科を含む)の初診は、他の医療機関からの紹介患者さん限定とさせていただきます。過去に通院しておられた患者さんも治療が終了して次の予約がない患者さんは初診となりますので、他の医療機関からの紹介・予約が必要となります。

受診ご希望の際は、まずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

なお、**再診も初診と同様にすべて予約制です。**診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状をお持ちでも、診察や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。

【問合せ先】地域連携室 TEL：06-6441-5451(代) AM9:00～PM5:00(土日祝日を除く)

I. 病院の理念・基本方針・看護部の理念・看護部の方針

JCHOの理念

我々全国ネットのJCHOは
地域の住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献します

JCHO大阪病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む24時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に24時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対してもリハビリを含む集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・皮膚などの疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 心筋梗塞・脳卒中などに対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

看護部の理念

地域住民の健康で幸福な生活を支える看護

看護部の方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、生活の質を高める看護を実践します。
2. 看護の質的向上を図り、地域住民のニーズに応じた看護の提供をします。
3. 多職種と協働し、チーム医療の向上に努めます。
4. 看護職者として感性を磨き、創造性の高い看護の実践に努めます。
5. 自己啓発や看護研究活動を推進します。
6. 人を癒し人を活かす職場づくりに努めます。

II. 患者さんの権利と責務

患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
4. 患者さんの個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にはいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんや病院職員の診療業務の支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

各種教室

マタニティクラス 問 申 JCHO(ジェイコー)大阪病院(産婦人科外来もしくは8階東病棟)
☎ 06-6441-5451 (代)

- 開催日／毎月第1・3水曜日、第4金曜日、月1回第2日曜日
- 時 間／9:30～11:30、13:30～15:30(第4金曜日のみ13:30～15:00)
- 場 所／当院6階 講堂
- 予約制(日時変更の場合は個別に、お伝えしています。)

腎臓病教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(血液浄化センター)
☎ 06-6441-5451 (代)

- 時 間／13:30～14:30
- 費 用／無 料
- 場 所／当院6階 会議室2
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

※都合により下記の内容に若干変更があるかもしれません。

開催日	テ ー マ	対 象
5月24日(木)	慢性腎不全の食事療法 カリウム・塩分の工夫	栄養士
6月28日(木)	腎機能が低下しているといわれたら… 慢性腎不全との付き合い方	医師
7月26日(木)	腎臓病と福祉制度(社会保障制度)	ソーシャルワーカー
8月	お休み	
9月27日(木)	慢性腎不全の食事療法 たんばく制限の工夫	栄養士
10月25日(木)	腎臓を長持ちさせる為に ①慢性腎不全とは ②日常生活で注意すること	医師

レッツ！糖尿病教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来)
☎ 06-6441-5451 (代)

- 時 間／14:00～16:00(受付は13:40から)
- 費 用／無 料
- 場 所／当院6階 講堂1・2
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

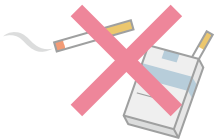
※5月は第2木曜日に開催いたします。

開催日	テ ー マ	担 当	開催日	テ ー マ	担 当
5月10日(木) 第2木曜日	糖尿病の薬物療法(経口剤) 糖質制限ってどうなの？	医師 管理栄養士	7月5日(木)	糖尿病の合併症 口の健康から血糖コントロール 合併症の検査	医師 歯科衛生士 検査技師
6月7日(木)	糖尿病の薬物療法(注射薬) のむ糖尿病薬を知ろう！ 夏も注意しよう！ ～シックデイ・ルール～	医師 薬剤師 看護師	9月6日(木)	みんなで語り合おう ～カンパセーションマップ～	医師 看護師 管理栄養士
			10月4日(木)	糖尿病の目の合併症 手軽にできる運動	医師 運動療法士

禁煙教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来)
☎ 06-6441-5451 (代)

なぜ禁煙が難しいのか、禁煙によるメリット、禁煙成功のコツなどをわかりやすく解説いたします。どなたでも参加できます。禁煙外来を受診されるかたにはあらかじめ受講をおすすめしています。

- 開催日／第4月曜日
- 費 用／無 料
- 時 間／13:00～14:00
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。
- 場 所／当院6階 会議室6



公開講座

どなたでも参加できます

消化器病懇話会 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来)
☎ 06-6441-5451 (代)

- 時 間／14:00～16:00
- 費 用／無 料
- 場 所／当院6階 講堂2
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

※詳細については確定次第、院内に掲示します。

院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(地域連携室)
☎ 06-6441-5451 (代)

名 称	日 時		場 所
乳腺疾患カンファレンス	第1・3水曜日	17:30～19:00	当院6階 会議室2
手の外科診療班症例検討会	第1金曜日	19:00～21:00	当院6階 講堂1
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日	17:00～18:30	当院9階東 カンファレンス室
臨床病理検討会(CPC)	毎月最終水曜日	17:30～18:30	当院6階 講堂1

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。
開催直前までの1週間以内に地域連携室にご確認ください。

ケア連携の会 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(医療福祉相談室：三村)
☎ 06-6441-5451 (代)

ケア連携のためのネットワークづくり、地域の皆様と共に学ぶ場として事例検討を中心に開催、ケア連携の質向上を目指しています。

- 対 象／病院看護師、訪問看護師、ケアマネージャー、その他医療・介護従事者
- 予約制 ※詳細は各回ごとにご案内いたします。
※「医療・看護トピックスの情報提供」の開催日は、決定次第お知らせします。(6月、9月、12月)

開催日	時 間	内 容	場 所
7月11日(水)	18:00～19:30	事例検討	当院6階 講堂1
10月10日(水)	18:00～19:30	事例検討	当院6階 講堂1
2019年2月13日(水)	18:00～19:30	事例検討	当院6階 講堂1

公開講演会 問 申 JCHO(ジェイコー)大阪病院(看護部教育担当：村上)
☎ 06-6441-5451 (代)

JCHO大阪病院看護部では、看護実践能力の向上だけでなく、医療安全・倫理など、様々な研修を計画・実施しています。今回は、前期コアレクチャーとして開催している研修を公開し、外部の看護師の皆様の参加を受け付けます。関心のある研修への参加をお待ちしています。

参加希望の研修がございましたら、看護部まで電話もしくは右記QRコードからご連絡ください。



日 時	研 修 項 目
5月10日(木)	周手術期の観察とアセスメント
5月17日(木)	フィジカルアセスメント 意識レベル・麻痺状態の観察
5月21日(月)	糖尿病と血糖コントロール
5月31日(木)	水・電解質バランス

※時間はいずれも15:30～17:00です。

問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

外来診療 受付時間

8:30～11:30

(土・日・祝日・年末年始を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてもらってください。

整形外科は紹介状と、予約なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間

12:00～21:00 平日(月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日

NICU(新生児集中治療室) 問 TEL(06)6441-5451(代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行い、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム かかりつけ医の先生専用

地域の登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来 問 医事課 TEL(06)6441-5451(代)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診察日) 毎週水曜日(受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診 問 乳腺・内分泌外科外来

TEL(06)6441-5451(内線2319)

乳がんの早期発見にお役立てください。

(検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、

毎週木曜日の午後4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後2:00～5:00)

女性がん検診 問 産婦人科外来 TEL(06)6441-5451(内線2322)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週月曜日 午後3:30～

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後2:00～5:00)



「堂島大橋」は工事のため車両通行止(歩行者、自転車、車いすは通行可)

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院(第1号)／につけい子育て支援大賞受賞／女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

- JR東西線
「新福島駅」下車徒歩約5分
※出口1にはエレベーター、出口2にはエスカレーターがご用意されています。
※当院に一番近い出口3には階段しかご用意しません。
- 京阪電車「中之島駅」下車徒歩5分
- JR環状線
「福島駅」下車徒歩10分
「野田駅」下車徒歩15分
- 阪神電車「福島駅」下車徒歩10分
- 地下鉄
千日前線「玉川駅」下車徒歩10分
- バス
56 大阪駅前 西島車庫方面(東行・西行)
「福島西通り」下車徒歩5分
「大阪福島税務署」下車約3分(駐車場側入口)
- 55 大阪駅前 鶴町四丁目方面
(路線変更しています。ご注意ください)
「堂島大橋」(東行・西行)下車約5分(53系統と同じバス停)
「堂島大橋」(北行・南行)下車約5分
※「堂島大橋」バス停は2か所ございます
- 53 大阪駅前 船津橋方面
「堂島大橋」(東行・西行)下車約5分
- タクシー JR大阪駅より約10分

診療科等一覧

- 救急部
- プライマリケア診療部
- 内科
- 消化器内科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- 放射線診断科
- 放射線治療科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科・歯科口腔外科
- 病理診断科
- 集中治療部
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来

※各科の専門など詳細は <http://osaka.jcho.go.jp/> でご覧になれます。

※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科

問 整形外科外来
TEL(06)6441-5451(代)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) 要紹介・予約制: 初診(月・水曜日)、再診(月・火・水・木・金曜日)

集中治療部(ICU)

全室個室で、手術後(心臓外科や食道摘出などの侵襲の大きな手術や、合併症のある患者さんの手術)、院内で集中治療の必要な患者さん、救急で来院された、心筋梗塞、脳卒中、ショック状態などの救急患者さんが入室します。主治医、ICU専任医、スタッフ、臨床工学技士などが協力して重症患者さんを治療します。

救急部

問 TEL(06)6441-5451(代)

時間内、時間外を問わず、内科プライマリケア、脳・心血管系救急、一般外傷救急、産科・小児科救急の患者さんを広く受け入れています。

各科医師との連携の上、緊急手術にも対応しています。

内視鏡センター

問 TEL(06)6441-5451(代)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。

申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX(06)6441-0512 かかりつけ医の先生専用

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域連携室 TEL(06)6441-5451(代)

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

医療福祉相談室 TEL(06)6441-5451(内線2140)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅療養を支援するため、地域医療機関や訪問看護ステーション、ケアマネージャー等と連携を取り合っています。自宅退院が困難な場合は新たな療養先の紹介も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

人間ドック・脳ドック

問 健康管理センター
TEL(06)6441-5451(代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防ならびに健康的な生活をしていただくことを目的としています。二日ドックと一日ドックを中心に、オプションを含め各種ご用意しております。詳しい内容は、健康管理センターまでお問い合わせください。

申 健康管理センター予約係 TEL(06)6441-5451(代)

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています

地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院/大阪府がん診療拠点病院

JCHO(ジェイコー)大阪病院 信頼に応える医療

独立行政法人地域医療機能推進機構(旧 大阪厚生年金病院)

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78

TEL(06)6441-5451(代表) FAX(06)6445-8900

<http://osaka.jcho.go.jp/>

この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報誌委員会宛まで